

# QSK 福精連

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会  
〒812-0046  
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50  
電話092-292-0560 FAX092-292-0561  
e-mail: fksr1974@fukuseiren.com  
ホームページ http://www.fukuseiren.com/  
No. 110 令和4年7月1日



今年度は昨年度以上に研修会、スポーツ大会などが予定通り開催され、皆様の明るい笑顔が見られることを願っております。

表彰後は  
第1号議案 令和3年度事業・行事報告案  
第2号議案 令和3年度決算案  
が提案され出席者全員の挙手と委任状によりこれらの審議事項が全て議決されました。  
令和2年8月に開所した『よからぼ』も多くの方々のご支援があり、ようやく軌道に乗りました。今年4月には就労継続支援B型も開始致しました。地域協働型のB型は事業所周辺地域の方々の御用聞きを行いながら、地域との交流を図ってまいります。引き続きみなさんが自分らしく、楽しく過ごせる事業所づくりを行ってまいりますのでお気軽にご連絡、見学をお待ちしています。

5月27日吉塚合同庁舎にて決算総会が開催されました。会場26団体・ZOOM2団体・委任状14団体の参加を頂きました。3月の予算総会以上に会場へ足を運んで頂きコロナ前の賑わいを少し取り戻せたように感じます。  
審議前には福精連表彰が行われ、長年精神保健福祉に携わってこられた方々へ会長より賞状と記念品が贈呈されました。(表彰者は下記記載)

## 第23回 予算総会 (R4年5月27日)



## 行事案内

- 【運営委員会】  
令和4年7月13日(水)  
場所…吉塚合同庁舎5F
- 【家族・職員研修会】  
令和4年8月9日(火)  
場所…吉塚合同庁舎5F
- 【運営委員会】  
令和4年9月1日(木)  
場所…吉塚合同庁舎5F
- 【第5回 福精連大会】  
令和4年9月9日(金)  
場所…春日市クローバープラザ
- 【みんなねっと全国大会】  
令和4年10月13-14日(木-金)  
ZOOM(広島)
- 【理事会・拡大会議】  
令和4年10月21日(金)  
場所…吉塚合同庁舎5F

※新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じて延期・中止の可能性がございます。

月間「みんなねっと誌」を購読しませんか?  
賛助会費(会費に購読料を含む)  
個人 年間3,600円  
※団体は一部還元があるの  
でお問い合わせを  
郵便振込先  
加入者名 みんなねっと  
口座番号 00130101  
338317  
電話番号 031690719211



## 交通運賃割引に向け要望を!

5月7日(土)に来福中の齊藤国土交通大臣にお会いして、若干の時間、懇談していただき、「精神障がい者の交通運賃割引実現への推進」の要望をいたしました。特に赤羽前大臣の大臣指示にそって以下の2点を強く要望しました。

1. 精神障がい者も交通運賃割引を早期に実現するよう、交通事業者への働きかけを強力に進めていただき、現状JRの100km以上を撤廃していただきたい。
2. 全国で障がい者用ICカードが導入されるよう取り組んでいただきたい。

尚、平成29年に割引を実施されICカードも導入された西鉄においては、運送収入と運送人員が実施後、微増ではあるが増えている状況をデータで示すとともに、障がい種別間の格差・不平等は、障害者差別解消法に照らしても差別の何物でもないことを付け加えておきました。

齊藤国土交通大臣からは、「請願が国会で採択されたことを重く受け止めています。赤羽前大臣の大臣指示を引き継いで、今後も全力で取り組んでまいります」とのご答弁がありました。



福精連理事 檜橋 恭一

## 令和4年度 福精連表彰者

- 5月の総会にて左記の方々が授与されました。(敬称略・順不同)
- 鈴木 久子 (中央区のぞみ会)
  - 判田 章江 (しののめ)
  - 黒河 幸彦 (いずみ会)
  - 伊福 深一 (はまゆうサポートセンター)
  - 陣内 伸廣 (みつば会)
  - 森 慶一 (あゆみの会共同作業所)
- 皆様、誠にありがとうございます!

## 一筆啓上賞大賞作品

僕のところへ  
怒・悲・思・患・怠・惑・恩・志・想・恋・・・いろいろな「こころ」が増えていく。  
お父さんへ  
ほくのこころ見えるかな。ふくといつしよで、時どきはんたいなんだ。

## 令和4年度 賛助会員のみなさま

- (団体会員) (敬称略・順不同) (令和4年6月28日)
- 鳥手そらめん販売(株)
  - (一社) 福岡県障がい者スポーツ協会
  - 医療法人富松記念会 三池病院
  - パナソニック記念会
  - 医療法人同仁会 乙金病院
  - (一社) Q-AGENT
  - こころこころこころクリニック
  - 医療法人信和会 大牟田保養院
  - 油山病院 家族会 あけぼの会
  - 福岡浦添クリニック 筑紫野病院
  - 医療法人成康会 堤小倉病院
  - 総合福祉支援団体ゆいまーる
  - (株)ちくしの郷・匠
  - 医療法人社団桜珠会 可也病院
  - 寿防災工業(株)
  - 医療法人 陽山会 丸野クリニック
  - 地域活動支援センターサンサンはかた
  - 医療法人 社団松和会 門司松ヶ江病院
  - 医療法人 要会 かなめクリニック
  - (一社) ちはやACT
  - 医療法人こがしメンタルクリニック
  - 福岡あけぼの会後援会
  - 医療法人 緑心会 福岡保養院
  - (個人会員)
  - 上木 猛
  - 白石 雄二
  - 佐々木 寿美
  - 井上 純治
  - 山本 由美
  - 平川 清隆
  - 樋口 靖則
  - 金久 義郎
  - 徳久 照道
  - 田原 恭子
  - 宮本 政智
  - 菅野 康
  - 川本 浩
  - 土肥 茂子
  - 齊藤 光代
  - 津村 美穂
  - 石河 久子
  - 立山 定博
  - 大平 利博
  - 平原 実男
  - 徳久 照道
  - 野澤 重信
  - 阿部 利彦
  - 戸田 俊彦
  - 富田 由紀子
  - 松岡 千代
  - 川口 千利
  - 中里 真一
  - 松本 俊寛
  - 本島 國光
  - 本間 裕
  - 兼川 誠
  - 田嶋 敏
  - 廣末 雄大
  - 永末 大
  - 西仲 好
  - 神谷 忠
  - 萬谷 真幸
  - 蔭谷 一
  - 石橋 健一
  - 伊藤 深一
  - 平山 守雄
  - 内原 雄史
  - 小野 雄
  - 井上 雄
  - 伊原 雄
  - 大野 加
  - 篠原 雅

【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F  
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-24 三原第3ビル3F  
【年会費】3,000円(購読料含む) 定価100円

この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。



福岡県のアンケート調査結果(2020年2月)前号つづき

# 福祉充実、医療費負担軽くがトップ

## (7)国や行政に望むこと(複数回答)

全29項目から17項目を選択(一部設問項目違いあり)。※数字は多い順位。

※回答が多い順1~5位に該当する項目を赤字で表示	本人入院	本人通院	家族
医療費の負担を軽くすること	1	5	4
精神障がい者への適正な医療と社会復帰に役立つ障害福祉サービス事業所を充実させること ※入院者は設問項目が無い	—	1	1
障がい者や家族の人権がまもられること	2	3	6
年金や割引制度を充実させ、経済的な負担を軽くすること	3	2	2
働く場をひろげること	4	4	3
障がい者と家族への理解を深めるような啓発、広報をおこなうこと	5	6	5
能力に応じた職場訓練をおこなうこと	6	7	7
地域でのふれあいや交流を盛んにすること	7	10	17
障がいの原因となるケガや病気の予防と早期発見に力をいれること	8	8	15
障がい者に配慮した住宅を整えること	9	12	13
救急医療や適切な医療が受けられるための体制をととのえること	10	11	18
障がい福祉サービス事業所を充実させること	11	9	8
本人や家族のもとに届けられる訪問型の支援の充実	12	13	9
保健、医療、福祉などの専門職員を養成、確保すること	13	13	12
心身障がい児を早期から療育する体制をととのえること	14	15	14
障がい者が自主的に社会活動に参加できるように支援すること	15	16	16
障がい者が公共交通機関を利用しやすい環境をととのえること	16	19	11

①入院者では、「医療費の負担を軽くすること」が最多で、「人権が守られること」、「年金や割引制度を充実させ経済的な負担を軽くすること」の順に多くなっています。

②通院者と家族では、「精神障がい者への適正な医療と社会復帰に役立つ障がい福祉サービス事業所を充実させること」が通院者35%、家族が53%と最多です。また、「年金や割引制度を充実させ、経済的な負担を軽くすること」が通院者、家族ともに2番目に多くなっています。

③全体として、「医療費の負担を軽くすること」と、「年金や割引制度を充実させ、経済的な負担を軽くすること」を合わせると、入院者73%、通院者74%、家族では84%と、いずれも7割を超えています。(白石雄二記)

## 事業所部会主催研修会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、昨年3月に開催を延期しておりました事業部会主催の家族研修会を令和4年6月17日(金)に開催致しました。

「(精神障害者にも対応した)地域包括ケアシステムについて」をテーマに青木聖久様(日本福祉大学教授)・福田敏克氏(日本福祉新聞)のお二人に講演を行っていただきました。

国は団塊の世代が75歳になる2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を推進していますが、これを精神障がい者にも対応すると言ふシステムです。

地域包括ケアシステムIIでできるだけ入院しない、地域で生活する、と言う事。地域で生活するためには居住支援、就労選択支援等々退院後の生活をフォローできる支援体制が必要です。社会的孤立を許さない社会の実現を目指し、今自分ができる事を考えていきたいです。

地域包括ケアシステムの最新情報を拝聴できる貴重な機会が実現しました。研修会を実施することができました。研修会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためZOOMでの開催となりましたが、52団体、60名ほどの参加があり、講演会後にグループワークを行うなど交流を深める良い機会になりました。

八女作業所 山口隆充

## 援助方法雑感

13年前にこの仕事に就いたときとは大きく違って仕方がなかった。精神疾患に興味があったし、PSW受験のために精神医学の勉強をすることも楽しかった。その弊害はすぐに表れた。

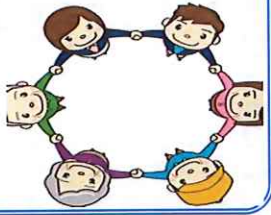
森を見て木を見ないというか、統合失調症や双極性感情障害をいくらか概念的に理解したところで個々の木当事者を理解したことにはならないというごく当たり前の事実がぶつかるとは思われる。当事者の日々の言動や仕草はもちろん、陽性症状を示すと思われる謎めいたお話しもじっくり聴いてみればまことに人間臭く、ほとんどが理解可能な背景や原因があつてのことだと気がついたときは職に就いてすでに数年が経過していた。

それまでは当事者を理解したり支援するために疾患名や型にはまっていた援助方法ばかりに頼っていた。ストレングスモデルやリカバリー、ラップ、SST等の主に米国で開発された手法や福祉思想を身につけようと専門書を読んだり外部の研修会に参加したりしたが、ついに身につけられなかった。ストレングスという代わりに長所、エンプワーという代わりに励ますと言えれば充分ではないか。しかしながら専門用語がなくなるとそれを教えることを飯の種にしていく先生方はお困りになるだろう。

一方で青年期に福祉を学んだ人の中には欧米の福祉思想を血肉化しているまっとうな専門職の方々もきつといるしその方々まで否定するものではない。しかし私は、実践を通して独自に援助方法を開発し、それを自分の言葉で語る「べてるの家」の向谷地生良氏のような人に強く惹かれる。

日本における「オープン・ダイアログ」推進者の一人である筑波大学の齊藤環先生は「べてる」は日本の精神医療の最先端であると断言して憚ることがない。できればマネをしたいが作業所のあり方を根本的に変える必要がありそうだし、自分にそれができるか甚だ心許ない。せめて傾聴と対話を通じた理解の先に共感があり、共感をベースに新たな対話と発見が始まる当事者との円環的で有機的な人間関係を築いていきたいと思うのです。

あゆみの会共同作業所 森慶一



## 家族会紹介

### 五筑会 会長 津村 美沙

五筑会はその名の通り五市(筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市)からなる筑紫地域の精神障がい者家族会です。有志により平成元年4月に結成され、当事者を支える中でどこでも言えない悩みや不安を吐き出せる場として心のより所になりました。また平成5年12月には当事者の日中の居場所として精神障がい者小規模作業所「みぎわ工房」を立ち上げ運営してきました。その後「みぎわ工房」は社会福祉法人福岡あけぼの会の下で就労継続支援B型事業所として運営され、五筑会もそこに事務局を設置し相互支援を行いつつ活動しています。

現在会員数は34名、毎月第3土曜日に開催される定例会には15名程が集まっています。また筑紫保健所をはじめ各市の障がい者関連の協議会委員を務めるなど連携を深め、地域に根ざした活動を目指しています。

しかしながら当会も高齢化により会員が減少傾向にあり、更にはここ数年コロナ禍により地域の精神障がい者家族を対象とした講演会も開催できず新規会員の獲得が困難になっています。今はネットで検索すれば容易に情報を得られる時代ですが画面上では知ることが出来ない生の声を届けられるよう、講演会の再開や「家族による家族学習会」を開催できるよう準備すると同時にちょっと覗いてみたいかなと思えるような魅力ある家族会づくりに頑張ります！



## 福精連大会のご案内

開催日：令和4年9月9日(金) 13時~16時 ※参加費無料  
 会場：春日市クローバープラザ セミナー研修室  
 講師：高森信子先生 (SSTのスペシャリスト)

『家族と支援者も元気になる上手な対処法(仮題)』  
 第2部としてもう一方講師を検討しております。  
 詳細が決まり次第 ご連絡致します。

## スポーツレクリエーション大会

福岡ブロック  
 令和4年9月14日(水)  
 場所：さんさんプラザ ポッチャ

北九州ブロック  
 令和4年10月28日(金)  
 場所：山田緑地 フィールドビンゴ

筑後ブロック  
 令和4年10月7日(金)  
 場所：うきは市立総合体育館 運動会

※コロナの状況によっては中止、延期、内容の変更もあります。



## 家族職員研修会

令和4年8月9日(火) 13:30~16:00  
 場所：吉塚合同庁舎5F  
 講師：本山智敬氏(福岡大学人文学部准教授)  
 研修内容：話を聴く態度(傾聴)  
 ・当事者と上手な対処法  
 ・オープンダイアログ